

2020（令和2）年度
事業報告書

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

公益財団法人日本デザイン振興会

①グッドデザイン賞事業

2020年度グッドデザイン賞は、審査委員長に安次富隆氏、審査副委員長に齋藤精一氏を新たに迎えた。過年度からのテーマである「美しさ」「共振する力」を踏まえ、いかに使う人の立場に立って、心を通わせたデザインがなされているか、を問う意味で「交感」を審査テーマとして提示した。各審査プロセスやイベントの実施においては、新型コロナウイルス感染拡大予防措置を十分にとりつつ、グッドデザイン賞が持つ「発見」「共有」「創造」のサイクルをより拡充させることに努めた。

応募と受賞

2020年度グッドデザイン賞は4月2日から募集を開始し、4,769件のデザインに対して審査を行い、10月1日に1,395件の受賞を発表した。また、10月30日にはグッドデザイン大賞、金賞、グッドフォーカス賞の特別賞を発表した。

審査対象数：4,769件

受賞数：1,395件

受賞企業数：974社

うち、東日本大震災復興支援措置に基づく受賞：38件

（福島県、宮城県、岩手県に本拠を置く応募者に対する費用免除などの措置を実施）

同 海外デザイン賞連携による受賞：30件

（賞連携を行っているタイ、インド、シンガポール、トルコのデザイン賞受賞対象からグッドデザイン賞への応募による受賞）

特別賞の内訳

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）：1件

グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）：19件

グッドフォーカス賞【新ビジネスデザイン】：3件

（経済産業省 大臣官房 商務・サービス審議官賞）

グッドフォーカス賞【技術・伝承デザイン】：3件

（中小企業庁長官賞）

同【地域社会デザイン】：3件（日本商工会議所会頭賞）

同【防災・復興デザイン】：3件（日本デザイン振興会会長賞）

審査体制

多様な応募対象を適切に審査するために、2020年度も様々な領域の専門家を新たに迎えて総勢94名の審査体制を整えた。

また、「グッドデザイン・ベスト100」を特別賞候補として明確に位置付けるため、特別賞選考の最終プロセスとして、「ベスト100プレゼンテーション審査」を実施し、ライブ配信も行った。



GOOD
DESIGN



グッドデザイン賞二次審査会場（愛知県国際展示場）



オンラインイベント「GOOD DESIGN SHOW 2020」

フォーカス・イシュー

フォーカス・イシューは、グッドデザイン賞受賞対象の中から、今後の社会におけるデザインの役割と可能性を見出す取り組みである。6年目となる2020年度は、5人のフォーカス・イシュー・ディレクターが各々の問題意識に基づいてテーマを設定し、受賞デザインを読み解き、提言をまとめた。また、特設ウェブサイトを立ち上げ、過去の提言も年度やキーワード、ディレクター名から検索・閲覧できるように再編集した。

■2020年度フォーカス・イシューおよびディレクター

「しくみを編むデザイン」 内田友紀（都市デザイナー）

「つながりを広げるデザイン」 川西康之（建築家/デザイナー/ファシリテーター）

「とおい居場所をつくるデザイン」 原田祐馬（アートディレクター/デザイナー）

「環境改善に寄与するデザイン」 ムラカミカイエ（デザイナー/クリエイティブディレクター）

「新たな社会の道しるべとなるデザイン」 山阪佳彦（クリエイティブディレクター）

グッドデザイン・ベスト100

すべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、特に高い評価を得た100件を「グッドデザイン・ベスト100」として選出した。グッドデザイン大賞や金賞などの候補になるとともに、今後各分野を先導する起点となりうるデザインに位置づけられるものである。

グッドデザイン大賞

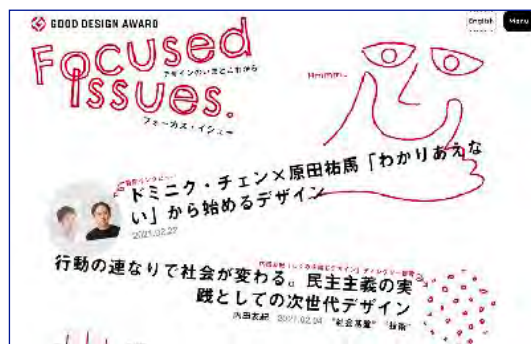
グッドデザイン大賞は、すべての受賞デザインの中から1件が選ばれ、テーマ性・時代性・社会性などの面でその年度のシンボルとなるデザインとして位置付けられる。2020年度は10月30日に5件のファイナリスト（大賞候補）を発表。同日、グッドデザイン賞の審査委員と受賞者による投票を実施し、WOTA株式会社の「自律分散型水循環システム[WOTA BOX]」が選出された。

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞は、ユーザーから長年にわたり支持されることで将来にわたって生活の質を築く価値を持ったデザインを讃えるとともに、よいものを長く使い続けることの意義を社会に示す賞である。2020年度はユーザー推薦および製造者等から応募された126件の中から、審査の結果19件が受賞した。受賞展を21_21 DESIGN SISHTで開催した。

GOOD DESIGN SHOW 2020

受賞プロモーションの中核企画として、オンラインイベントを特設ウェブサイトで開催した。10月30日から11月1日の3日間をコア期間と定め、グッドデザイン大賞選出会を初めて生中継で一般公開したほか、受賞者や審査委員など多彩なゲストを招いたトークイベントを実施した。



フォーカス・イシュー特設サイト



グッドデザイン大賞「WOTA BOX」



グッドデザイン大賞選出



グッドデザイン・ベスト100展



ロングライフデザイン賞受賞展

また、受賞者に
虫眼鏡型の受賞プロモーションツールを配布し、受賞の喜びを共有
するプラットフォームも提供した。

会期：10月1日～11月30日

会場：特設ウェブサイト

私の選んだ一品「暮らしのピント」展

グッドデザイン賞審査委員のお気に入り最新受賞作＝「私の選んだ
一品」の展示をGOOD DESIGN Marunouchi にて行った。

また、審査委員自らが一品を紹介する動画を制作し、特設ウェブ
サイトで公開した。

会期：11月2日～11月30日

会場：GOOD DESIGN MARUNOUCHI

グッドデザイン・ベスト100展

審査委員から高い評価を得てグッドデザイン・ベスト100に選出さ
れた100点のデザインの展示を行った。

会期：10月1日～11月3日

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ

グッドデザイン賞における復興支援

2011年度からの東日本大震災復興支援特例措置を継続し、岩手
県、宮城県、福島県を本拠とする事業者からのグッドデザイン賞応
募に要する費用などを無償にしている。2020年度は対象地域から
38件がグッドデザイン賞を受賞した。また、グッドフォーカス賞
[防災・復興デザイン]には3件が選ばれた。

説明会・報告会

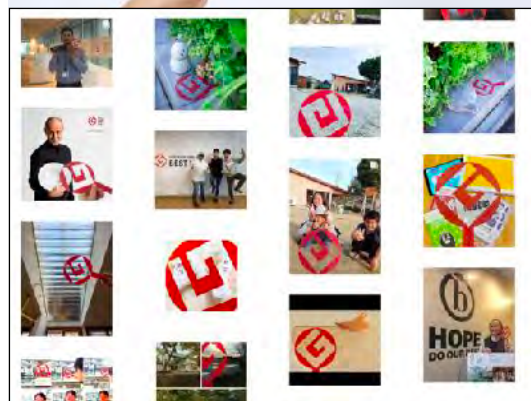
グッドデザイン賞の理念や応募方法を解説する説明会や個別相談会
をオンラインで実施したほか、国内2箇所では対面で実施した。ま
た、審査の視点を審査委員自らが解説するセミナーを計3回、オン
ラインで開催した。受賞発表後には、審査報告会を審査ユニットご
とに収録しオンライン配信した。

出版

2020年度受賞デザイン全件を掲載した『GOOD DESIGN AWARD
2020』を、2021年3月に発刊した。2010年から継続してきた仕
様を刷新し、装い新たな年鑑となった。



私の選んだ一品展



受賞プロモーションツール



『GOOD DESIGN AWARD 2020』

グッドデザイン大賞・金賞・特別賞

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）

- ・自律分散型水循環システム WOTA BOX/WOTA株式会社

グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）

- ・Toothpaste O'right Toothpaste No. Zero/Hair O'right International Corporation
- ・レシピ本 「ひより食堂」へようこそ/ひより保育園+そらのまち出版+株式会社スピカート
- ・陸上競技用スプリントシューズ メタスプリント トーキョー/1093A148/株式会社アシックス
- ・家庭用電動ミシン 子育てにちょうどいいミシン/株式会社アックスヤマザキ
- ・デジタルシネマカメラ EOS C500 Mark II/EOS C300 Mark III/キヤノン株式会社
- ・家族型ロボット LOVOT[らぼっと]/GROOVE X株式会社
- ・外構舗装仕上材 ドライテック/株式会社フッコー+有限会社長岡生コンクリート
- ・大型移動式防護車両 ハイウェイ・トランスフォーマー/中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社
- ・住宅街区 ソーラータウン府中/有限会社野沢正光建築工房+相羽建設株式会社
- ・商業施設 やま仙 / Yamasen Japanese Restaurant/株式会社トレインー級建築士事務所+COTS COTS LTD.
- ・お菓子工房 みいちゃんのお菓子工房/株式会社ALTS DESIGN OFFICE
- ・宿泊施設 まれびとの家/VUILD株式会社
- ・建築 延岡駅周辺整備プロジェクト/延岡市+有限会社乾久美子建築設計事務所+カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社+延岡設計連合協同組合+株式会社studio-L+上田・児玉・朋幸・久米特定建設工事共同企業体・Shopping Platform LOOP/TerraCycle
- ・サウンドロゴ 緊急地震速報チャイム音/日本放送協会
- ・ウェブサイト 東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト/東京都
- ・ビデオ会議システム Zoom/Zoom Video Communications, Inc.
- ・サーキュラーエコノミー BRING/日本環境設計株式会社
- ・plan Design Movement on Campus/Taiwan Design Research Institute

グッドフォーカス賞［新ビジネスデザイン］（経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞）

- ・活動量計 カード型活動量計 [AM-250]/株式会社タニタ
- ・全天球カメラ IQUI/ベクノス株式会社+株式会社リコー
- ・Webサービス さきめし/Gigi株式会社

グッドフォーカス賞［技術・伝承デザイン］（中小企業庁長官賞）

- ・半袖シャツ・長袖シャツ MIENNE/菅公学生服株式会社
- ・布ふぎん さささ 和晒ロール/株式会社武田晒工場
- ・車輪 フジ ニンジャホイール/株式会社富士製作所

グッドフォーカス賞［地域社会デザイン］（日本商工会議所会頭賞）

- ・旅客船（高速船） シースピカ/株式会社瀬戸内島たびコーポレーション
- ・駅前広場 多治見市多治見駅北広場「虎渓用水広場」/有限会社オンサイト計画設計事務所+多治見市+玉野総合コンサルタント株式会社
- ・M&Aプラットフォーム ツグナラ TSUGUNARA 【地域特化型M&Aプラットフォーム】/株式会社サクシード

グッドフォーカス賞〔防災・復興デザイン〕（日本デザイン振興会会長賞）

- ・防災セット いつものもしも 携帯セット／持ち出しセット／備えるセット／株式会社良品計画
- ・震災遺構 山元町震災遺構中浜小学校／宮城県山元町
- ・建築 熊本城特別見学通路／株式会社日本設計

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞（日本デザイン振興会会長賞）

- ・でんぶん糊 ヤマト糊／ヤマト株式会社
- ・文房具 フリクション／株式会社パイロットコーポレーション
- ・ウエストゴム BBワッフル／株式会社アジャックス
- ・鞆 ポーター / タンカー／株式会社吉田
- ・LED携帯ライト 0510 タグライト／山口 和馬＋株式会社アビタックス
- ・電気シェーバー イズミ・IZD-C289・クリーンカット／マクセルイズミ株式会社
- ・コーヒーフィルター／コーヒードリッパー メリタ アロマフィルター／メリタジャパン株式会社
- ・しょうゆさし 元祖すり口醤油差し／廣田硝子株式会社
- ・花器 D-BROS／株式会社ドラフト
- ・チェア S-0507／株式会社天童木工
- ・椅子 HIROSHIMA アームチェア／株式会社マルニ木工
- ・椅子 CH24/ Yチェア／カール・ハンセン＆サン ジャパン株式会社
- ・モジュールシェルフ スtring／String Furniture
- ・ディン・ネクスト ディン・ネクスト／Monotype Imaging Inc.
- ・ニュースサイト 日経電子版／株式会社日本経済新聞社
- ・注水型樹脂製仮設防護柵 KYブロック／株式会社八木熊
- ・街区開発 ヒルサイドテラス／朝倉不動産株式会社
- ・郵便事業 郵便ポスト／日本郵便株式会社
- ・公共交通 都電荒川線／東京都交通局

審査委員長メッセージ

いま、私たちは国連で採択されたSDGsのように、早急に解決すべき世界共通の課題を数多く抱えています。グッドデザイン賞でも、直近の課題に取り組むデザインが増えてきました。それらに共通していることは、人々の気持ちを感じ取り、それに応えたいという思いをベースにしていることでしょう。そこでは、デザインを介して人と人がお互いの感情を通わせる交感が行われています。表層に見えてくる、しくみや製品は、思いを具体的に機能させるための装置です。装置は技術で作ることができますが、交感、生来人に備わった言葉を越えたメタレベルのコミュニケーション能力です。デザインでは常に、装置と交感がセットになっています。交感が装置を人や社会に実装させるのです。

この文章を書いている今も、新型コロナウイルスが世界で拡散し続けており、私たちを不安に陥れています。この世界的な問題の根本的な解決は、医学に頼らねばなりませんが、瞬く間に店頭から消えてしまったマスクの問題は、医学では解決できません。この問題を解決できるのは、交感によって得た人の気持ちを勘案した装置をつくれるデザインであると考えられないでしょうか。その装置は、しくみかもしれないし、製品かもしれない。デザインにとって重要なことは、アウトプット方法の違いではなく、装置が人々の気持ちを反映しているかどうかなのです。

グッドデザイン賞への参加の意義の一つは、同じ時代の多様なデザインを俯瞰し、自己のデザインを客観できることにあります。デザインがカバーする領域は拡がり続けており、その表層性だけで比較することはできません。しかし、デザインに含まれる装置と交感を見極めることができれば、自らの立ち位置や、アプローチの適正さについて、デザインの姿形に囚われずに比較でき、未来を明るくするヒントを見出すに違いありません。できるだけ多種多様なデザインが一堂に会することを願っています。



安次富 隆 審査委員長

2020年4月2日

審査副委員長メッセージ

世界はものにあふれています。世界はことにあふれています。それら全てが誰かのアイデアから生まれたデザインであるし、全てが手のかかったクリエーションです。その中で、人々の毎日を少しでもより良く、それを積み重ねて世界をより良く変えようとしているデザインは幾つあるでしょうか？直接的でも、間接的でも、どのような表出を伴っていてもよいと思います。より良くしたい心を持って創っているかが大切だと思います。私はグッドデザイン賞を通して、そんな心から生まれたものごとをできる限り多く見つけたいと考えています。

いまの時代は「新しい地層形成の始まり」とも言われています。そのため、従来の常識が及ばないことがこれからも次々と起こることが予想されます。その原因として、私たちが私たち自身＝人間とは何であるか？という哲学的な問いを忘れ、技術革新に没頭してしまった末に世界の変化を見落としてしまっていたのかもしれない。

そんな時代にデザインは何ができるのか？今年もこの大きな問いに対して審査委員との議論を積み重ねて、今ならではの指針を見つけないと思います。

今年度は一昨年の「美しさ」、昨年の「共振力」の文脈を受け継ぎ、次のステップである「交感」をテーマに掲げます。大きな変化が起きる状況の下で、個の力だけではなく既存の業界やスケール、コトやモノの枠を超えた大きなうねりが必要だと考えます。感覚や感性、感動が交わることで世界中の社会・人に必要なデザインが生み出されると強く感じます。今年も数多くの「交感」する力を持った作品と出会えることを楽しみにしています。



齋藤 精一 審査副委員長

2020年4月2日

審査委員会

審査委員長 安次富 隆（プロダクトデザイナー） 審査副委員長 齋藤 精一（クリエイティブディレクター）

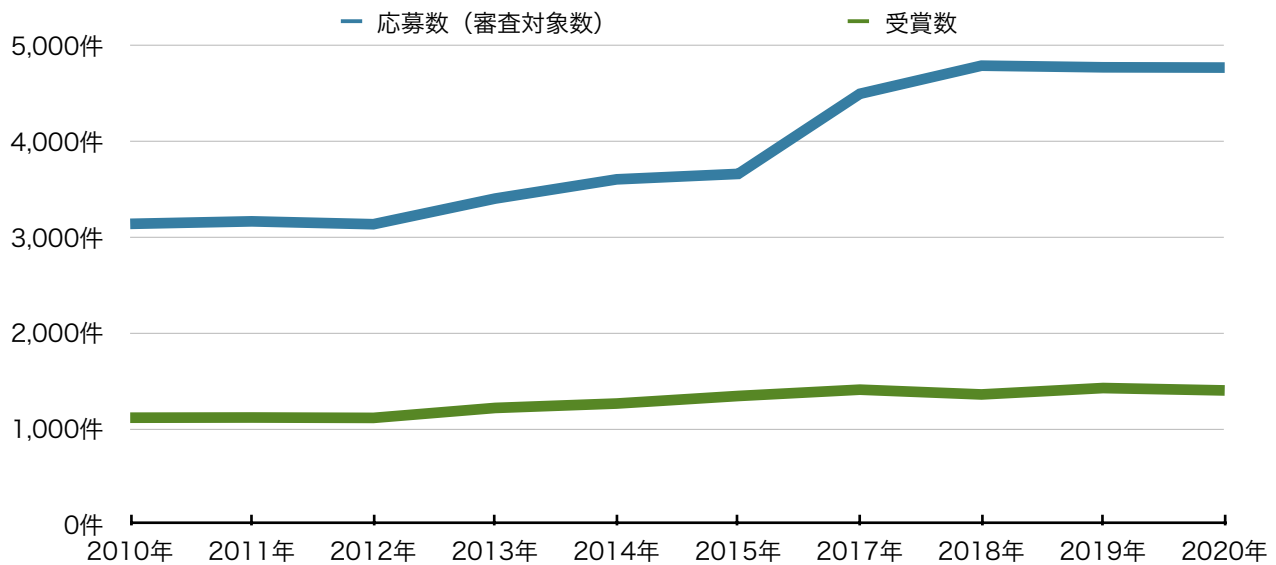
審査委員

●ユニットリーダー ○フォーカス・イシュー・ディレクター

ユニット01：身につけるもの	ユニット02：ヘルスケア	ユニット03：子ども・文具
●吉泉 聡 デザイナー / クリエイティブディレクター 岡本 健 グラフィックデザイナー 廣川玉枝 クリエイティブディレクター / デザイナー 本田 敬 プロダクトデザイナー	●石川 俊祐 デザインイノベーション 石川 善樹 予防医学研究者 ナカジマ ミカ デザイナー 濱田 芳治 プロダクトデザイナー	●倉本 仁 プロダクトデザイナー 佐々木千穂 ユーザーエクスペリエンスデザイナー ○原田 祐馬 アートディレクター / デザイナー 柳原 照弘 デザイナー
ユニット04：レジャー・ホビー	ユニット05：キッチン／生活 雑貨・調理家電	ユニット06：家具・家庭用品
●渡辺 弘明 インダストリアルデザイナー 色部 義昭 グラフィックデザイナー 清水 久和 プロダクトデザイナー ○ムラカミ カイエ デザイナー / クリエイティブディレクター	●鈴木 元 プロダクトデザイナー 辰野 しずか クリエイティブディレクター / プロダクトデザイナー 中坊 壮介 プロダクトデザイナー 村田 智明 プロダクトデザイナー / デザインプロデューサー	●手塚 りか プロダクトデザイナー 大友 学 デザイナー / ブランドディレクター 木住野 彰悟 アートディレクター / グラフィックデザイナー 藤城 成貴 プロダクトデザイナー
ユニット07：家電	ユニット08：映像機器	ユニット09：情報機器
●三宅 一成 デザイナー 玉井 美由紀 CMFデザイナー 松本 博子 プロダクトデザイナー 安井 重哉 UIデザイン研究者	●宮沢 哲 デザインディレクター / プロダクトデザイナー 青木 俊介 ロボットクリエイター 橋倉 誠 プロダクトデザイナー 山崎 宣由 プロダクトデザイナー	●緒方 壽人 デザインエンジニア 片岡 哲 プロダクトデザイナー 小林 茂 イノベーションマネジメント研究者 林 信行 ジャーナリスト / コンサルタント
ユニット10：産業／医療 機器設備	ユニット11：住宅設備	ユニット12：店舗／オフィス／公共 機器設備
●朝倉 重徳 インダストリアルデザイナー 重野 貴 プロダクトデザイナー 林 千晶 プロジェクトマネージャー 村上 存 設計工学研究者	●橋田 規子 プロダクトデザイナー 安積 伸 プロダクトデザイナー 小林 マナ インテリアデザイナー 小林 幹也 デザイナー / クリエイティブディレクター	●田子 學 アートディレクター / デザイナー 佐藤 弘喜 デザイン学研究者 鈴野 浩一 建築家 長町 志穂 ライティングデザイナー
ユニット13：モビリティ	ユニット14：住宅建築（戸建て～小規模集合住宅）	ユニット15：住宅建築（中～大規模集合住宅）
●根津 孝太 クリエイティブコミュニケーター 内田 まほろキュレーター ○川西 康之 建築家 / デザイナー / ファシリテーター 森川 高行 モビリティデザイナー	●手塚 由比 建築家 小見 康夫 建築構法学研究者 千葉 学 建築家 山崎 健太郎 建築家	●篠原 聡子 建築家 猪熊 純 建築家 駒田 由香 建築家 藤原 徹平 建築家
ユニット16：産業・商業の建築・インテリア	ユニット17：公共建築・土木・景観	ユニット18：メディア・コンテンツ・パッケージ
●原田 真宏 建築家、大学教授 遠山 正道 実業家 永山 祐子 建築家 吉田 愛 建築家	●伊藤 香織 都市研究者 五十嵐 太郎 建築評論家 山崎 亮 コミュニティデザイナー 山梨 知彦 建築家	●佐々木 康晴 クリエイティブディレクター 鹿野 護 アートディレクター 河瀬 大作 テレビプロデューサー 三澤 遥 デザイナー
ユニット19：システム・サービス・ビジネスモデル	ユニット20：取り組み・活動・メソッド	グッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員会
●長田 英知 ストラテジスト ○内田 友紀 都市デザイナー / コレクティブデザイナー 近藤 ヒデノリ クリエイティブプロデューサー Miles Pennington 教育イノベーター 水野 祐 弁護士	●井上 裕太 プロジェクトマネージャー 川上 典李子 ジャーナリスト ナカムラ ケンタ 実業家 / 編集者 山出 淳也 アーティスト ○山阪 佳彦 クリエイティブディレクター	安次富 隆 プロダクトデザイナー 齋藤 精一 クリエイティブディレクター 羽田 美智子 女優 田村 昌紀 ブランドディレクター 藤本 幸三 アーティスティック・ダイレクター

事業実績

グッドデザイン賞応募数、受賞数の推移



都道府県別受賞件数

北海道	10	埼玉県	28	岐阜県	11	島根県	1	佐賀県	2
青森県	2	千葉県	10	静岡県	17	鳥取県	0	長崎県	6
岩手県	13	東京都	583	愛知県	53	岡山県	4	熊本県	8
宮城県	18	神奈川県	57	三重県	3	広島県	15	大分県	5
秋田県	0	新潟県	27	滋賀県	4	山口県	4	宮崎県	6
山形県	4	富山県	4	京都府	26	徳島県	0	鹿児島県	4
福島県	10	石川県	1	大阪府	154	香川県	2	沖縄県	6
茨城県	3	福井県	4	兵庫県	28	愛媛県	1		
栃木県	7	山梨県	5	奈良県	3	高知県	4		
群馬県	4	長野県	9	和歌山県	3	福岡県	17		

海外地域別受賞件数

Canada	1	Indonesia	6	Singapore	3	Switzerland	1	Uganda	1
China	168	Macau	1	South Korea	26	Taiwan	61	U.K.	2
Germany	10	Malaysia	2	Spain	1	Thailand	15	U.S.A.	32
Hong Kong	10	Netherlands	2	Sweden	1	Turkey	3		

スケジュール

4月2日 - 6月2日	グッドデザイン賞およびロングライフデザイン賞の応募受付期間
4月2日 - 5月23日	ロングライフデザイン賞ユーザーからの推薦期間
6月3日 - 7月1日	一次審査期間
7月2日	一次審査結果通知
7月10日 - 9月3日	二次審査期間
8月18日 - 8月20日	二次審査会、ベスト100選考会
8月28日	グッドデザイン賞確定会
9月4日	二次審査結果通知
10月1日	受賞発表（グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100）
10月1日 - 11月30日	GOOD DESIGN SHOW 2020
10月1日 - 11月3日	「グッドデザイン・ベスト100」展
10月8日	グッドデザイン・ベスト100デザイナーズプレゼンテーション
10月8日	特別賞審査会
10月30日 - 11月8日	ロングライフデザイン賞受賞展
11月2日 - 11月30日	「私の選んだ一品」展
2021年3月	受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2020」発刊



②海外事業

2020年度は変化に満ちた一年であったが、グッドデザイン賞を軸にした国際交流活動を可能な限り展開した。新型コロナウイルスの世界的流行により海外への渡航は制限されたものの、日本デザインに対する注目度と関心は高く、各国や地域のデザイン組織との交流や良好な関係の維持に積極的に取り組んだ。

デザイン賞連携・運営支援

各国の産業振興及びデザイン振興を目的とした「デザイン賞連携」は、タイ「デザインエクセレンスアワード」、インド「インディアデザインマーク」、シンガポール「シンガポールグッドデザインマーク」、トルコ「デザインターキー」及びインドネシア「グッドデザインインドネシア」の5カ国で実施している。

2020年度も相互の審査委員交換派遣を実施し、各国アワードの受賞者によるグッドデザイン賞への応募があり、30件が受賞となった。受賞展はすべてオンラインイベントに変更したため、これまで実施されていた「デザイン賞連携によるブース展示」も一時休止となったが、代替策として「デザイン賞連携プロモーション」としてタイ、シンガポール、トルコおよびインドネシアについて、プロモーション動画をオンライン配信した。

12月5日～13日には、タイにおいてチェンマイ・デザインウィーク2020が開催され、2020年度グッドデザイン賞の受賞作品展示を行った。

国際交流

日本デザイン振興会の加盟する国際デザイン団体の1つであるWorld Design Organization(WDO)は、「デザインによる、よりよい社会の実現」をめざして活動している組織で、国連の経済社会理事会の特殊諮問機関として、持続可能な開発目標(SDGs)のデザインによる達成をミッションとして掲げている。現在約40の国・地域から173の団体や教育機関・企業等がメンバーとなり、日本からは当会と日本インダストリアルデザイン協会(JIDA)、千葉大学、武蔵野美術大学、多摩美術大学がメンバーとなっている。

2019年10月からWDOの理事として当会の津村真紀子がWDO運営に参画しており、毎月行われたオンライン理事会において、日本のデザインの状況についての情報共有を行った。また、WDOの定めるWorld Industrial Design Day(6月29日)には、JIDA理事長の田中一雄氏と国内加盟3大学の学生によるオンライン対談イベント「WIDD デザイン・ダイアログ」を実施したほか、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関(UNWOMEN)とWDOによるコラボレーションプロジェクトに参加した。

さらに、国際機関日本アセアンセンターとの協業により、新たにラオス、フィリピン、ブルネイとのデザインプロモーションにおける相互協力に関する覚書を締結し、デザイン賞設立・運営協力に向けたプロジェクトをスタートした。



GOOD DESIGN SHOWでのタイアワードビデオ



GOOD DESIGN SHOWでのインドネシアアワードビデオ



GOOD DESIGN SHOWでのシンガポールアワードビデオ



タイ・チェンマイでのグッドデザイン賞ブース

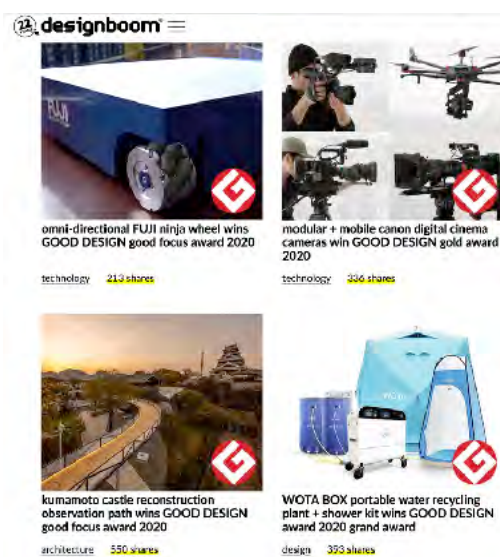
インターナショナル・メディアパートナー

グッドデザイン賞の海外での影響力を強め、認知度を高めるため、2020年も応募初期段階から海外各国・地域のメディアパートナーと共同プロモーションを行った。中国の「日本設計小駅」と台湾の

「秋刀魚」とは、応募期間からグッドデザイン賞のPRに積極的に取り組み、オンラインの記事配信やグッドデザイン賞特集の出版などを行った。受賞発表段階では、グッドデザイン賞公式ウェブサイトと並行して海外に向けてオンラインで受賞結果を発表した。また受賞企業へのインタビュー記事を受賞作品の紹介記事を刊行するなど、年間を通じてPRを行った。



日本設計小站（中国）



designboom（イタリア）



秋刀魚（台湾）

③広報事業

日本デザイン振興会では、様々なパートナーと連携し「場」を使ったプロモーション活動を積極的に行っている。2007年からは東京ミッドタウン・デザインハブとインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターを、2014年からはグッドデザイン賞受賞商品の販売を通じた広報機会としてGOOD DESIGN STOREの展開を、2015年からはGOOD DESIGN Marunouchiを開設し、展示会やセミナーなどを通じて様々なステークホルダーとともにデザインが持つ社会的価値を広く訴求している。

GOOD DESIGN Marunouchi

日本国内で初となる常設型の広報拠点としてオープンしたGOOD DESIGN Marunouchiは6年目を迎えた。2020年度は年間を通して新型コロナウイルスの影響を受け、2ヶ月にわたる休廊や企画展の中止・延期に見舞われたが、計14の企画展、9回のイベントを実施し、年間では約2万5000人が来場した。

グッドデザイン賞関連では、リニューアル後10年を経たグッドデザイン賞年鑑のデザインにフォーカスした企画展、2019年度の大賞や「フォーカス 이슈」をテーマにしたもの、あたらしい暮らし、仕事等に対応した受賞デザインを紹介する企画展などを開催した。また、大学との共同により、「コロナ禍におけるデザイン」というテーマに対する課題発表展を開催。今しかできない企画を柔軟に取り込み紹介した。

2ヶ月間の休廊期間に、延期となった企画展の内容（都市集積型でない生活・産業のデザイン）をテーマにしたオンラインプログラム「山水郷チャンネル」を立ち上げ、年間を通して開催、配信した。



2020年度開催のGOOD DESIGN Marunouchi企画展示

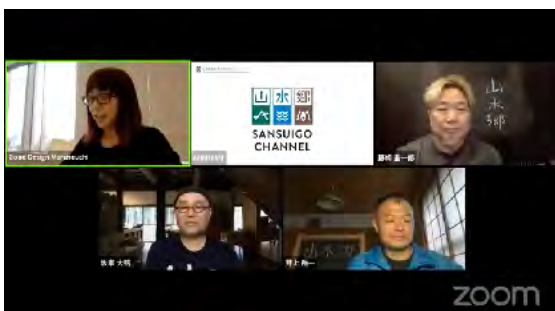
名称	会期	実施主体	入場者数
デザインを記録し継承するものグッドデザイン賞年鑑の10年・2010-2019	6/3～7/19	JDP	1,033
社会課題とデザインの相関を探るフォーカス・ 이슈2019	7/22～8/12	JDP	1,510
うちロボコンテスト受賞作品展	8/15～31	JDP + ユカイ工学株式会社	1,003
「アフターコロナのユートピア」	9/2～16	JDP + 東京藝術大学デザイン科	674
危機の中の都市 COVID-19と東京2050(β)	9/18～10/8	JDP + 東京大学工学部社会基盤学科 交通・都市・国土学研究室	1,144
2019年度グッドデザイン大賞展「CLAY32CAFE」	10/10～30	JDP + 富士フイルム株式会社	1,835
私の選んだ一品「くらしのピント」	11/2～30	JDP	8,484
多摩美術大学環境デザイン学科 木香展	12/3～12	多摩美術大学環境デザイン学科	924
Loiduts展	12/14～16	Studio-L	89
グッドデザイン2020 in 燕三条	12/18～27	公益財団法人燕三条地場産業振興センター	1,944
働くひとのためのグッドデザイン	1/9～2/6	JDP	1,733
日本空間デザイン賞2020展	2/9～14	日本空間デザイン協会+日本商環境デザイン協会	454
暮らしのグッドデザイン	2/16～3/13	JDP	2,704



オンライン配信 (Youtube 総視聴回数 約19,000)

「山水郷チャンネル」配信実績

#1, 2 坂本大祐 (オフィスキャンプ東吉野)	#24, 25 早坂正年 (プロデューサー／ブルーファーム株式会社 代表取締役)
#3, 4 城谷耕生 (STUDIO SHIROTANI/長崎県雲仙市小浜)	#26, 27 鈴木修司 (ゆいまーる沖縄株式会社 代表取締役社長)
#5, 6 萩野紀一郎、萩の ゆき (能登半島まるやま組)	#28, 29 鷺見栄児 (デザイナー／designwater)
#7, 8 馬場末織 (建築ライター/NPO法人南房総リパブリック)	#30 牧大介 (エーゼロ株式会社／株式会社西栗倉森の学校 代表取締役)
#9, 10 加藤紗栄 (岩手県西和賀町ユキノチカラプロジェクト 事務局/ブランドマネージャー)	年末SP「井上さん、日本列島は回復しそうですか？」
#11, 12 宮川 将人 (くまもと☆農家ハンター代表)	#31, 32 山田 崇 (塩尻市役所 企画政策部 地方創生推進課 地方創生推進係長 [シティプロモーション担当])
#13, 14 江副 直樹 (ブンボ株式会社/事業プロデューサー)	#33, 34 矢部佳宏 (一般社団法人BOOT代表理事/西会津国際芸術村ディレクター)
#15, 16 岡本健 (グラフィックデザイナー/株式会社岡本健デザイン事務所 代表取締役)、熊野亘 (プロダクトデザイナー/kumano 代表)	#35, 36 曾 緋蘭 (ソーシャルデザイナー/ROOTS代表)
#17, 18 新山直広 (TSUGI代表/デザインディレクター)	#37, 38 廣瀬圭治 (アートディレクターデザイナー/神山しずくプロジェクト)
#19, 20 白水高広 (株式会社うなぎの寝床代表取締役)	#39 中西拓郎 (一般社団法人ドット道東 代表理事)
#21 岩佐十良 (株式会社自遊人 代表取締役)	#40 山東 晃大 (長崎県雲仙市小浜町/京都大学経済研究所研究員一般社団法人OBAMA ST. 理事)
#22, 23 真鶴出版 川口瞬/來住友美 (「泊まれる出版社」神奈川県真鶴町) 伊藤孝仁富永美保 (建築家)	

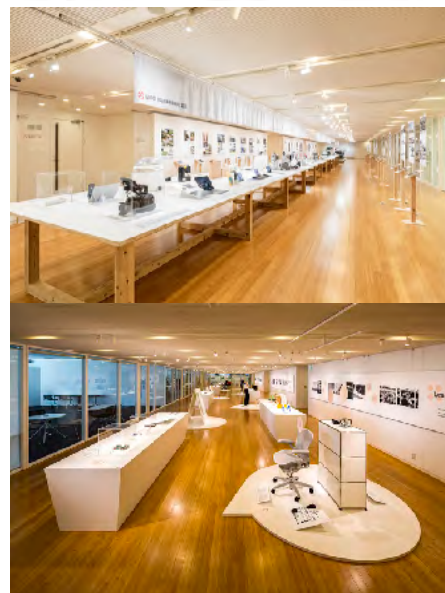


その他配信実績

【デザインを記録し継承するもの展】ディレクターズ・トーク1「ものとなを輝かせる写真とデザイン」	7/3
【デザインを記録し継承するもの展】ディレクターズ・トーク2「デザインの表現が変わる・デザインの表現を変える」	7/11
「フォーカス 이슈展」スペシャル対談企画 安次富 隆 x 内藤 廣	8/11
デザイン科の学生がコロナ禍と向かい合って考えたこと ― アフターコロナのユートピア展のアフタートーク ―	9/11

東京ミッドタウン・デザインハブ

日本デザイン振興会、日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学デザイン・ラウンジの三者が構成機関を務めるデザイン情報の発信拠点である東京ミッドタウン・デザインハブでは、2020年度もギャラリースペースでの企画展示の開催、東京ミッドタウンとの共催による「東京ミッドタウン・デザイン部」活動、インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターを活用した活動などを複合的に展開しているが、2020年度は新型コロナウイルスに大きく影響を受けた1年となった。一方、新たな試みとしてイベントのオンライン化を実行し、引き続き、デザインの専門性を深め、デザインと周辺領域をつなげる機会を提供する役割を果たすとともに、ワーカーや施設来館者に対して、気軽にデザインの視点に触れる機会を変わらず提供している。



デザインハブ企画展示

2020年度は2ヶ月間の休廊や特別展（外部団体による企画展示）の中止等により、例年に比べ少ない7本の企画の実施となり、合計来場者数は約26,000人となった。卒業制作展が中止となった学校が多かったことから「ゼミ展」は卒業制作を発表する企画として開催。中止となったグッドデザイン賞受賞展の補完として「グッドデザイン・ベスト100」展を実施。夏のキッズウィークにはオンライン・オフラインのイベントを併用して実施した。

2020年度開催のデザインハブ企画展示

名称	会期	実施主体	動員数
第85回企画展 みんなのロングライフデザイン・ショウ	6/5～27	日本デザイン振興会	1,498
第86回企画展 日本のグラフィックデザイン2020	7/10～ 8/31	日本グラフィックデザイナー協会	8,627
東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズワークショップ 2020	8/15～ 9/6	東京ミッドタウン・デザインハブ	255
第87回企画展「ゼミ展2020 - みのがし卒展」	9/8～27	東京ミッドタウン・デザインハブ	2,899
第88回企画展 2020年度グッドデザイン賞「グッドデザイン・ベスト100」	10/1～ 11/3	日本デザイン振興会	8,618
第89回企画展 見えてないデザインー社会に問い続けるムサビー	11/14～ 12/13	東京ミッドタウン・デザインハブ	2,700

特別展 花とともに生まれん。3・11以後、復興とアート	3/1～ 3/13	東京ミッドタウン・デザインハブ + いわてアートプロジェクト実行委員会（NPO 法人岩手未来機構）	1,311
--------------------------------	--------------	---	-------

東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズワークショップ

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年8月に子供向け連続ワークショップ企画「キッズデザインウィーク」を開催しているが、2020年度はコロナ禍により夏休み期間が短縮になるなどしたため、8-9月の週末を中心に、分散型で開催した。新たな試みとしてオンライン企画を実施したほか、感染症対策を十分行った上で会場でのワークショップも開催。計13企画15回を実施し延べ255名が参加、どの企画も例年とほぼ変わらない参加率となった。

2020年度実施のキッズワークショップ

名称	実施日	実施主体
活版印刷で自分だけのノートを作ろう！	8/15	まんまる〇
進め、オンライン探検隊！ ラスト・ファラオの謎	8/15,16	武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科3年 空間構成クラス
夏休み！親子de わくわくワークショップ「あったらいいな、こんな店」	8/16,23	一般社団法人日本商環境デザイン協会
セミとピクトとチラシでつくるBOX ART	8/22	アサコラ♡キッズ♡アトリエ+RE-MAKES
粘土で宇宙人をつくろう！	8/29	タカハシカオリ
こどもの感性を伸ばすために親にできること～親も子もクリエイティブに生きるためのヒント～	8/30, 9/6	WEデザインスクール
フェルトシールをはって親子バッグをつくろう！	9/5	佐久間茜+ドル萌々子
織物の街、八王子の染工房から出る呉服用柄見本を使ってしおりやマスクを作ろう！	9/5	東京造形大学岩瀬ゼミナール + 一般社団法人Spedagi Japan
八王子の竹で作った紙を使って竹紙版画と竹紙ランタンを作ろう！	9/5	東京造形大学岩瀬ゼミナール + 一般社団法人Spedagi Japan
親子で作るちいさな端切れぬいぐるみづくり	9/6	and sewing + 一般社団法人Spedagi Japan
夏だ！竹うちわをつくろう！	9/6	株式会社オープンハウス + 一般社団法人Spedagi Japan
親子で楽しむ電車デザイナー体験！	9/6	公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会

東京ミッドタウン・デザイン部

東京ミッドタウン・デザイン部は東京ミッドタウンとの共催による活動で、当会は企画・運営と事務局を担っている。2017年から始まった本活動は、東京ミッドタウンをはじめとする六本木エリアに仕事や暮らしの場を持つ方や来街者を対象に ①クリエイティブな視点を仕事や生活に活かす ②デザインを切り口としたサードプレイスの提供 を目的として、ギャラリーツアーやトークイベントなどを実施している。2020年度はオンラインイベントを中心に実施した。

また、2019年度より実施している「リエゾンセンター・ライブラリー」は、JDPの蔵書や東京ミッドタウンが所有する書籍を活用して、ワーカーや施設来館者に対して、無料でデザイン関連書籍に触れることができる不定期のデザインライブラリーである。3ヶ月間の休室を経て感染症対策を行った上で再開し、2020年度は79日間開室。約2,800名が来場した。また新企画としてデザイン関連書籍の新刊を紹介するブックフェアを実施、著者を招いたオンラインイベントを通年で計16回開催した。



2020年度東京ミッドタウン・デザイン部開催企画

名称	実施日
NO PROBLEM store @21_21 ギャラリーツアー	6/21
ミッドタウンガーデンと紫陽花を知るガイドツアー	6/30
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 ＜村田智明氏による DESIGN THINKING 連続セミナー①-③＞	7/18, 8/5, 9/2
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 『GOOD DESIGN FILE 愛されつづけるデザインの秘密』発刊記念・著者 高橋 克典氏が語る「ロングライフ デザインの秘密」	8/5
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 著者・面矢 慎介氏が語る『近代家庭機器のデザイン史 イギリス・アメリカ・日本』	8/7
日本のグラフィックデザイン2020 ギャラリーツアー	8/24
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 『キッズ・デザイン・ラボが考える子どもが本当にほしいもの』発刊記念「子どもが本当にほしいもの - こども たちに経験と学びある環境を」	8/27
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 『人と空間が生きる音デザイン』発刊記念 小松正史氏 x 室野愛子氏「公共空間が《音》をまとう ～音デザ インの現場から～」	9/10
「ゼミ展2020 みのがし卒展」 第1期ギャラリーツアー	9/13
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 『デザインから考える障害者福祉 - ミシンと砂時計 - 』発刊記念「転回するデザイン 障害者福祉の学術出版 はどのように設計されたか？」	9/17
「ゼミ展2020 みのがし卒展」 第2期ギャラリーツアー	9/27
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 「はじめてのグラフィックレコーディング」出版記念イベント 伝わる絵の描き方を体験しよう! 配信+ア ーカイブ	11/5
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 『学習環境のイノベーション』発刊記念 いま「学習環境のデザイン」を考える ―オンライン授業を超える 「新しい学びのかたち」とは？	11/18
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 サッカー批評原論 ブラジルのホモ・ルーデンス 出版記念イベント	11/19
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 「デザインの本質」出版記念 田中一雄氏ブックイベント①・②	12/16, 1/27
見えてないデザイナー社会に問い続けるムサビー ギャラリーツアー	12/18
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 『クロノデザイン 空間価値から時間価値へ』出版記念オンライン座談会	12/21
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 「世界のびっくり建築を追え」出版記念イベント	1/25
折詰め会 Vol. 101「折詰め会の魅力を発揮する条件を探ろう! 実験しよう」 オンライン開催	1/29
折詰め会 Vol. 102「コミュニケーションとデザイン」 オンライン開催	2/24
【リエゾンセンター・ライブラリーのブックイベント】 ブックEV『Tired Of』発売記念トーク「路上と遊びの関係を考える」	3/3
TOTOギャラリー・間「中川エリカ展 JOY in Architecture」ランチタイム配信ツアー	3/8
和紙キャンドルガーデン2021 TOHOKU ガイド&インタビュー	3/24
折詰め会 Vol. 103「雨」 オンライン+リアル開催	3/24
ミッドタウンの桜と緑を楽しむワークショップ リアル開催	3/26

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

東京ミッドタウン・デザインハブに設けられたインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターでは、国内外のデザイン関連機関やデザイン教育機関の事業推進、各種のデザイン活動の活性化促進、デザイン人材育成支援を目的とするセミナーやシンポジウム、ワークショップなどを展開している。2020年度はセミナー等イベントのほか、会議や選考会等の非公開イベントの実施および配信イベント会場としての活用となった。

2020年度開催の主なセミナー、シンポジウム、ワークショップ

名称	実施日	実施主体
芸術工学会 2020年度夏期大会・シンポジウム（配信）	8/1	芸術工学会
TCL-多摩美術大学クリエイティブリーダーシッププログラム	11/7, 1/16, 1/23	多摩美術大学
DIA2020受賞発表会・東京（配信）	12/19	一般社団法人日本デザインコンサルタント協会
Designship 2020 Extra Stage（配信）	11/18	一般社団法人デザインシップ

GOOD DESIGN STORE・百貨店等との連携企画

グッドデザイン賞受賞商品の販売を通じた広報活動として「GOOD DESIGN STORE」や、百貨店等との売り場連携企画を展開している。国内では野原ホールディングス株式会社の経営による「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」を、海外では「GOOD DESIGN STORE Bangkok」の運営を支援。国内店舗は、本年度も引き続き雑誌やTVなど各種媒体への掲載実績を重ねているものの、新型コロナウイルスの影響により2019年11月にオープンした渋谷店を6月末に閉店。バンコクの店舗も2021年6月をもって契約終了の見込みである。

例年実施している百貨店との連携による展示販売企画は、インテリア領域の売上が伸長していることから規模を拡大し、売り場での「グッドデザイン賞」のプロモーション活動を展開した。



■ Good Design Good Over 50's 暮らしのデザイン展2020

西武池袋本店会場 10月24日(土) - 11月3日(火・祝)

横浜そごう会場 11月5日(木) - 16日(月)

主催：株式会社そごう・西武 + 一般社団法人ケアリングデザイン

メディアを対象とする広報

当会事業に関するメディア向け広報として、国内媒体宛にプレスリリースを11回配信した（内訳：グッドデザイン賞事業関連：6回、東京都事業関連：4回、その他事業：1回）。

受賞発表後に、フジテレビ系「めざましテレビ」「newsイット」でグッドデザイン・ベスト100選出対象に関する報道が行われた。

主要日刊紙における受賞連合広告特集は、11月に朝日新聞・日経新聞・読売新聞の本紙で掲載されたほか、雑誌「プレーン」も12月に特集が実施された。



オウンドメディアによる広報

CINRA.NETとの連携で、フォーカス・イシュー専用のウェブサイトを開設して取材記事を通年にわたり掲載し、最新受賞デザインが持つ意義を明らかにし、デザイン領域の可能性の拡張を試みた。

ウェブプラットフォーム「note」で、受賞デザイン・デザイナーの取材記事の連載を通年で行うとともに、その内容をベースに、ビジネス人材むけのウェブ媒体「AMP」での連載を行うなど、より広範囲にグッドデザイン賞の情報が行き届くような広報活動を展開した。さらに、「Instagram」では毎日、グッドデザイン賞受賞対象を1日1件ずつ紹介する記事を掲載しており、フォロワー数を2.9万人に伸ばすなど、定着してきている。ロングライフデザイン賞に関して、ディアンドデパートメントが発行する「dロングライフデザイン」誌で、過去受賞対象を受賞者への取材により紹介する巻頭連載を2020年度から開始している。



ファイナリストプロモーション広告企画の実施

2020年度のグッドデザイン大賞候補（ファイナリスト）をフィーチャーするため、オンラインメディア「News Picks」における広告企画として、ファイナリストと有識者による対談・座談会を実施し、記事広告を掲載した。

第1回 【対談】 インフラからD2Cまで。なぜ、ビジネスに「デザイン」が必要なのか
WOTA株式会社 前田瑤介 × Takram 佐々木康裕

第2回 【座談会】 なぜ「社会派クリエイティブ」の力が、いま求められるのか
クリエイティブ・ディレクター 辻愛沙子
VUILD株式会社 秋吉浩気
日本環境設計株式会社 中村崇之
台湾デザイン研究院 アイ シューチン
東京都戦略制作情報推進本部 荻原 聡



アーキテクト・スタジオ・ジャパンとの協業による広報推進

日本最大の独立経営建築家ネットワーク機関であるアーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社との間で、2017年から互恵的な広報連携を継続している。2020年度も会員向け定期媒体でのグッドデザイン賞受賞建築家の紹介の連載が継続されたほか、グッドデザイン賞の募集告知も同社ネットワークを介して実施された。

④公共プロモーション事業

東京ビジネスデザインアワード

「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内のものづくり中小企業と優れた課題解決力・提案力を併せ持つデザイナーとの協働による、新しいビジネスモデルやブランドへの開発を目的とした、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションである。優れた技術力を持つ中小企業と企画提案力のあるデザイナーをマッチングさせ、新事業の実現・オリジナルブランド構築に向けた支援を行う。当会は主催の東京都とともに、2011年度からこの事業の企画運営を担っている。2020年度も、東京都内の中小企業が持つ高い技術や特殊な素材を「テーマ」として募集し、審査を行い選定、それに対して全国のデザイナーから、新規用途開発を軸としたビジネス全体のデザイン提案を募集した。さらに対象となった企業とデザイナーに対して、知財戦略・デザイン契約、広報戦略、販路開拓、デザイン開発導入のための講座などを、審査委員やプロジェクトマネージャーとの伴走型で実施した。

■スケジュール

4月 14日 開催概要発表・テーマ募集
7月 8日 テーマ審査会
9月 8日 テーマ発表・提案募集
11月11日 提案一次審査
11月26日 提案二次審査
1月 15日 テーマ賞発表
2月 9日 提案最終審査・結果発表・表彰式

■審査委員

廣田 尚子（デザインディレクター）審査委員長
石川 俊祐（デザインイノベーション）
川田 誠一（工学博士）
日高 一樹（特定訴訟代理人・弁理士 / デザインストラテジスト）
山田 遊（バイヤー / キュレーター）

■最優秀賞・テーマ賞（1件）

提案：オンデマンド印刷の新しいカタチ—視覚と触覚で楽しむ
プロダクト

井下恭介、増谷誠志郎（SANAGI design studio）
株式会社千葉印刷（渋谷区）

■優秀賞・テーマ賞（2件）

提案：東屋（azumaya）ビジネスデザインプロジェクト
清水 覚（オクノテ）
有限会社東屋（墨田区）

提案：特殊ラベル印刷技術を用いた新しい遊び体験の提案
井下恭介、増谷誠志郎（SANAGI design studio）
株式会社日本ラベル（板橋区）



最終審査会リモート開催の様子



オンデマンド印刷の新しいカタチ—視覚と触覚で楽しむ
プロダクト



東屋（azumaya）ビジネスデザインプロジェクト



特殊ラベル印刷技術を用いた新しい遊び体験の提案

旭川デザインプロデューサー育成事業

本事業は、2019年にユネスコ・デザイン都市に認定された北海道・旭川市において、地域のデザイナーや支援機関、事業者に対し、デザインプロデュースの実践的な研修を実施することで、デザイン経営導入、市のブランド構築やイノベーション創出を図る人材育成を目指したもので、当会が受託し企画運営を担った。基礎研修では、地域振興に携わるビジネスデザイナーや、元金融マンを講師に迎え、セミナーを複数開催。実践研修では、市内の協力事業者と共に地域がデザインを活用して成長するための基盤となる知識を習得した。研修内容は今後地域内でのデザイン活用の推進と、参加者・事業者同士の継続的な関係づくりに繋がるもので、当会は今後も後方支援を行っていく予定である。

事業主体者：北海道 旭川市

事業実施者：旭川市の事業者5社

基礎研修参加者52名、実践研修参加者22名

協力機関：旭川デザインセンター、旭川市産業創造プラザ等



神戸市との協力に基づく企画の実施

2021年1月から3月にかけて、神戸市と当会との共催で「グッドデザイン神戸2020」をオンライン企画として実施した。神戸市を本拠とする株式会社アシックスによる2020年度グッドデザイン金賞受賞のスプリントシューズや、グッドデザイン・ベスト100選出の神戸市役所市民ロビーといった地域に身近なデザインを題材に、デザイナーと審査委員が参加するトークを実施した。



⑤人材育成推進事業

グッドデザイン賞学生インターンシップ

例年グッドデザイン賞審査会の運営補助にインターンシップとして大学生を受け入れているが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により審査会運営補助のインターンシップは中止した。代替策として「自分のグッドデザイン大賞2020を見つける」をテーマに、19名の学生とグッドデザイン賞審査委員8名がオンライン・グループワークに参加し、課題提出・プレゼンテーション・講評を実施した。

教育機関における講座

「グッドデザイン神戸2020」の会期中に、神戸芸術工科大学、六甲アイランド高校、神戸電子専門学校の在校生を対象としたオンライン講義を実施した。神戸芸術工科大学ではグッドデザイン賞受賞者のコクヨ株式会社と株式会社イトーキの参加により、企業内デザイナーとインテリアデザイン専攻の学生との交流が図られた。

新たに和洋女子大学からの要請により、デザインと経営に関する講義



を2021年3月に実施した。

また、宮城大学価値創造デザイン学類と連携して、グッドデザイン賞の受賞者による演習講座「Good Design Lecture」を昨年度に引き続き開催した。

台湾国際学生デザインコンペ

2013年から世界最大規模の「台湾国際学生デザインコンペティション」に協力し、JDP特別賞の贈賞と、審査委員を毎年派遣している。今後も国際コンペ参加機会として日本の学生に広めていく予定である。

事業構想大学院大学との連携企画

プロジェクトデザインで社会を変革する力を持つ人材育成を目指す事業構想大学院大学と連携し、年間を通して月刊誌『事業構想』で「ビジネスデザイン」をテーマにした連載企画を2020年度も展開した。また、教育業界を対象にした新雑誌『先端教育』でも、グッドデザイン賞を受賞したデザインを紹介する連載を毎月紹介している。

企業経営へのデザイン活用度調査

経済産業省・特許庁による「デザイン経営」の振興活動の一環として、日本における企業経営へのデザイン活用度調査を、三菱総合研究所との共同研究事業として実施。グッドデザイン賞応募企業519社から回答を得て、デザイン経営に積極的な企業ほど高い売上成長を実現し、従業員からも顧客からも愛される可能性があることなど、デザイン経営と企業成長との相関関係の結果を公表した。



神戸でのオンライン講義



台湾国際学生コンペ



月刊誌『事業構想』連載



月刊誌『先端教育』連載



企業経営へのデザイン活用度調査

2020（令和2）年度事業報告（総務・管理業務）

1. 会務の実施（役員会等の開催）について

（1）評議員会

回	日時・場所	議題等
第26回	2020年6月18日（木） 15：30-17：00 東京ミッドタウン・カンファレンス ルーム5、6	議題 ・公益事業を強化・補完するための積立資産（特定費用準備資金）の積み増しについて（案） ・2019（令和元）年度決算報告書（案） ・理事の推薦及び退任について 報告事項 ・2019（令和元）年度事業報告書について ・今年度のグッドデザイン賞事業現況について ・新型コロナウイルス対策について その他
第27回 （臨時）	2020年12月17日（木） 18：10-19：10 東京ミッドタウン・カンファレンス ルーム9	議題 ・次期理事改選について 報告事項 ・2020年度事業進捗状況について その他
第28回	2021年3月17日（水） 15：30-17：00 WEB会議 メイン会場： インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター	議題 ・2021年度事業計画書（案）について ・2021年度収支予算書（案）について 報告事項 ・2021年度グッドデザイン賞審査委員並びにグッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱について ・在宅勤務の取扱いに関する規程制定等について その他

(2) 理事会

回	日時・場所	議題等
第 32 回	2020 年 6 月 3 日(水) 15:30-17:00 WEB 会議 メイン会場：インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター	議題 ・ 2019（令和元）年度事業報告書（案）について ・ 特定費用準備資金（案）について ・ 2019（令和元）年度決算報告書（案）について ・ 事務局長の選任（案）について ・ 職員給与規程の改定（案）について ・ 評議員会の招集（案）について 報告事項 ・ 評議員会への審議案件（人事案件） ・ 今年度のグッドデザイン賞事業現況について ・ 今後のスケジュールについて
第 33 回 (臨時)	2020 年 10 月 7 日（水） 書面決議	議題 ・ 臨時評議員会の招集について
第 34 回	2020 年 12 月 17 日(木) 17:00-18:00 対面及び WEB 会議 メイン会場：東京ミッドタウン・カンファレンス ルーム 9	議題 ・ 2021 年 6 月理事会の開催地について 報告事項 ・ 2020 年度事業進捗状況について ・ 次期理事改選について
第 35 回	2021 年 3 月 3 日(水) 15:30-17:10 WEB 会議 メイン会場：インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター	議題 ・ 2021 年度事業計画書（案）について ・ 2021 年度収支予算書（案）について ・ 2021 年度グッドデザイン賞審査委員並びにグッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱について ・ 在宅勤務の取扱いに関する規程制定（案）について ・ 就業規則一部改定（案）について ・ 職員給与規程一部改定（案）について ・ 評議員会の招集（案）について その他

(3) 会計監査等

① 監事監査：2020 年 6 月 2 日（火）

目的： 2019（令和元）年度事業報告書（案）、2019（令和元）年度決算報告書（案）

② 監査法人監査：EY 新日本有限責任監査法人会計監査 （期末監査）

2020 年 5 月 14 日（木） 当会会議室

2020 年 5 月 13 日（水）、16 日（土）、25 日（月）、26 日（火） オンライン

目的：2019（令和元）年度決算処理

（期中監査）

2020 年 11 月 13 日（金）、12 月 3 日（木）、22 日（火）、

2021 年 1 月 28 日（木）、29 日（金）、2 月 24 日（水）、3 月 10 日（水） 当会会議室

目的： 2020（令和 2）年度会計処理

2. 賛助会員の現状について

2020 年度末の賛助会員及び情報会員数は 180。（会費は広く公益事業に役立てている。）

近年は、会員企業等の経費削減や組織改編により会員数が漸減傾向にあり、2020 年度は 8 企業より退会届が提出された。

3. 後援、協賛事業について

2020 年度に当会が後援並びに協賛、協力の名義を提供した外部企画は、26 団体延べ 28 件に協力している。当会の承認後に、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止された事業もある。

(1) 供与先内訳

自治体及び その関連機関	デザイン専門団体	業界団体	民間企業	教育機関	海外機関	任意団体
6	3	6	9	1	2	1

(2) 事業内訳

デザイン展	見本市	デザインコンペ	セミナー・ワークショップ等	その他
4	9	7	7	1

4. グッドデザイン・フェローについて

2020 年度の贈呈者はなし。

5. 業務管理・調整について（規程、内規、業務調整等の実施）

（1）各種規程・内規等の新設及び改正

年月日	規程等	実施事項	概要
2020 年 7 月 27 日	公印規程	運用見直し	一部を除き、原則事務局長承認とし、必要に応じて理事長包括承認。
	「常務会」の設置要領	改定	名称、構成員等
2021 年 1 月 19 日	「JDP 勉強会」の外部講師謝金内規	新設	必要により外部講師を招聘した場合の謝金基準を策定
2021 年 3 月 3 日	在宅勤務の取扱いに関する規程	新設	2020 年 4 月の緊急事態宣言を受け、社会的要請により、試行として選考実施。一旦、制度として公式導入。
	就業規則	改定	特別休暇（結婚、弔事等）の取得期限を明示
	臨時職員就業規則	改定	2020 年 4 月の就業規則改定との整合性
	職員給与規程	改定	休業
2021 年 3 月 23 日	人事考課実施に関する内規	改定	実施時期に関する条文追加等

（2）各種業務調整

年月日	項目	実施事項	概要
2020 年 9 月 8 日	会議体系	改定	情報共有を目的とした「企画調整会議」は一旦廃止、役職員の勉強会を新設。

（新型コロナウイルス感染症拡大に対する措置）

2020 年 4 月 7 日	緊急事態宣言発令時の対応	新型コロナウイルス緊急対策本部 会議・通達	・全面在宅勤務への切替え ・事務所原則閉鎖(一部当番出社) ・Marunouchi 等一時休館 ・期間は 4/8～5/6
2020 年 4 月 8 日	緊急事態宣言発令に伴う臨時職員に対する措置	事務局長名	休業期間中の賃金補償について

2020 年 5 月 4 日	緊急事態宣言延長に伴う対応	新型コロナウイルス緊急対策本部 会議・通達	・各種措置の継続・延長 (5/7～5/31) ・Web 会議のさらなる活用推奨
2020 年 5 月 12 日	緊急事態宣言発令に伴う臨時職員に対する措置	事務局長名	休業期間中の賃金補償について 期間延長等
2020 年 5 月 26 日	緊急事態宣言解除に伴う対応 (6 月 12 日まで)	新型コロナウイルス緊急対策本部 会議・通達	・社会環境を踏まえて、一定の取組みを継続 ・Marunouchi は東京都のロードマップ「ステップ1」までは原則休館。「ステップ2」の段階で開館。 ・リエゾンセンターは、当面の間休館を継続
2020 年 6 月 9 日	6 月 13 日から 6 月 30 日までの対応	〃	・社会環境を踏まえて、一定の取組みを継続 ・リエゾンセンターは、当面の間休館を継続
2020 年 6 月 29 日	7 月 1 日から 7 月 31 までの対応	〃	・社会環境を踏まえて、一定の取組みを継続 ・7 月 1 日より、リエゾンセンターは、再開。Marunouchi は、営業時間を 1 時間延長し、11-19 時。
2020 年 7 月 29 日	8 月度の勤務等について	〃	・「3密」を避ける対応を継続、強化 ・勤務面、出張、会議等は 7 月と同様
2020 年 8 月 25 日	9 月度の勤務等について	〃	勤務面、出張、会議等は 8 月と同様
2020 年 9 月 25 日	10 月度の勤務等について	〃	勤務面、出張、会議等は 9 月と同様
2020 年 10 月 27 日	11 月度の勤務等について	〃	勤務面、出張、会議等は 10 月と同様
2020 年 11 月 24 日	12 月度の勤務等について	〃	・社会的感染拡大を踏まえて、感染予防の取組みを強化 ・オフィス内昼食時、複数での喫食自粛 ・12 月 28 日 (月) 及び 1 月 4 日 (月)を一斉年休取得日に設定 (オフィスは通常通り営業)
2020 年 12 月 22 日	1 月度の勤務等について 1 月 5 日(火)～1 月 30 日(土)	〃	・勤務面、出張、会議等は 12 月と同様 ・1 月 5 日(火)～1 月 8 日(金)は年休取得推奨日

2021 年 1 月 8 日	緊急事態宣言発令に伴う対応について	〃	・オフィスは通常稼働 ・テレワーク率 70% ・Marunouchi は 11-19 時を継続 ・リエゾンセンター及びライブラリーは、現状を継続
2021 年 2 月 3 日	緊急事態宣言延長に伴う対応について 2 月 8 日(月)～3 月 7 日(日)	〃	1 月の取組みを継続
2021 年 3 月 5 日	緊急事態宣言延長に伴う対応について 3 月 8 日(月)～3 月 21 日(日)	〃	これまでの対応を基本的に継続。 今後繁忙期を迎えるため、従来以上に臨機応変かつ柔軟な対応・運用を図る。
2021 年 3 月 18 日	緊急事態宣言解除に伴う対応について 3 月 22 日(月)～当面の間	〃	テレワーク率 50% 他の取組みは継続

6. 行政当局等による監査、立ち入り検査等について

2020年度に実施された監査、検査はない。

7. 資産管理の現状

(1) 保有資産

投資有価証券（一般正味財産）の満期償還があった。評価額は、前年度末に対して、基本財産・特定資産において減少し、投資有価証券において増加した。また、一般正味財産において増加し、指定正味財産において減少した。運用利息は、前年度と同程度であった。

(2) 基本財産・特定資産の構成割合と評価額・運用利息

	資産割合			評価額（円） (3.31.現在)	利息（円） (年間)
	預金	仕組債	国債・地方債・社債等		
2016 年度	6.6%	10.5%	82.9%	1,524,701,370	23,128,455
2017 年度	6.5%	10.2%	83.3%	1,545,532,110	23,005,900
2018 年度	3.6%	7.5%	88.9%	1,590,424,620	22,577,322
2019 年度	3.1%	6.5%	90.4%	1,581,673,430	21,801,972
2020 年度	3.2%	6.5%	90.3%	1,546,854,820	23,413,060

8. 国内外における G マーク関連商標登録の現状

商品分野における「G マーク」商標登録（一部商標については、2020 年 4 月に 10 年間の権利期間更新）に加え、証明商標の観点から、第 35 類（優秀デザインに関する広告、宣伝）及び第 42 類（優秀デザインに関する募集の管理、審査、選定）の役務サービス分野における「G マークとロゴタイプ」の組合せによる商標登録を積極的に取り組んだ。

（1）国内

- ①「G マークと GOOD DESIGN」商標に関し、2012 年 1 月に第 42 類を登録するとともに、新たに第 35 類を申請し、2020 年 10 月に登録済み。
- ②「JDP」商標については、リクルートマネジメントソリューションズ社との間で第 41 類（セミナー、講演会等の実施）における商標使用許諾契約を 2021 年 3 月に更新し、5 年間延長（～2026 年 3 月末）するとともに、2021 年 2 月に「シンボルマーク+JDP（日英名称）」商標を第 9 類（電子出版物）、第 35 類及び第 41 類で申請、審査継続中。

（2）海外

中国、韓国、ドイツ、シンガポール、タイ、香港、台湾において、商品分野の一部区分における「G マーク」商標登録に加え、トルコ、インド、インドネシア、アメリカを追加し、第 35 類及び第 42 類における「G マークと GOOD DESIGN」、「G マークと GOOD DESIGN AWARD」を申請し、審査継続中。

なお、インドについては、当該申請商標は特徴的ではなく、自他サービス識別機能を有していないこと等を理由に、2021 年 3 月に暫定的拒絶通知があり、現在意見書提出準備中。